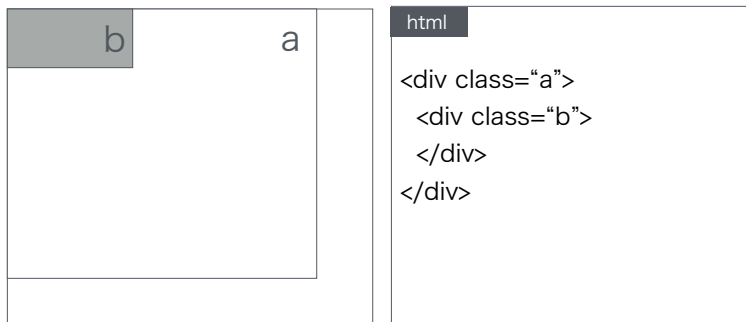


HTMLのポイント

■HTMLのイメージ

- 1.左上に重力のある、箱の積み重なりである
- 2.入れ子構造になっている

【例】要素aの中に要素bと要素cが入っている



■HTMLの要素の種類

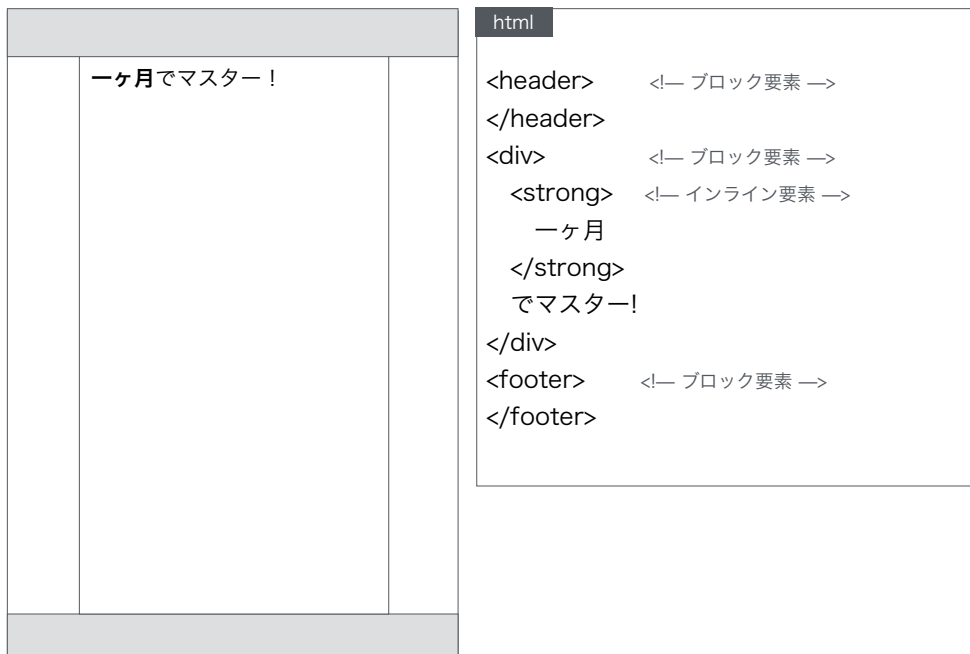
・ブロック要素・・・箱としてレイアウトを作成するための要素。CSSにより高さと横幅を指定できる

例: div, li, h1, p header, footerなど

・インライン要素・・・テキストの一部に意味を与えるための要素。高さや横幅は、囲んでいるテキストのそれに依存する

例: a, i, em, labelなど

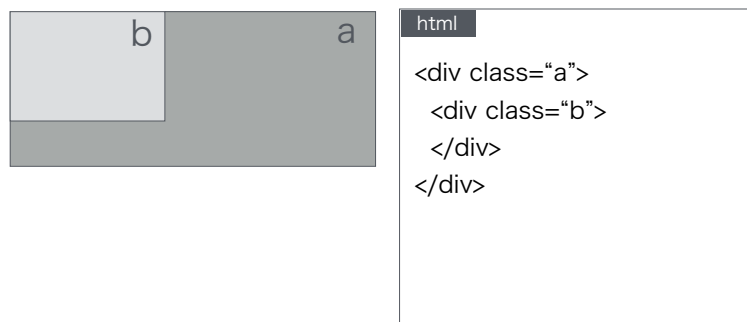
【例】ブロック要素で箱を作り、インライン要素で文字の一部を装飾する



■親要素と子要素

- ・ある要素aの中に要素bが入っている状態の時、bはaの子要素である
- ・ある要素aの中に要素bが入っている状態の時、aはbの親要素である

【例】bはaの子要素

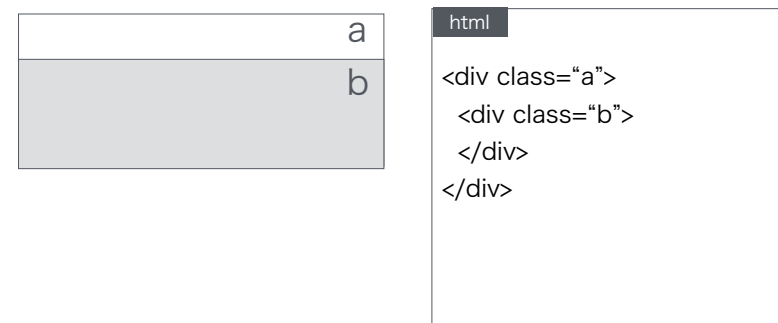


■ブロック要素のデフォルトの大きさ

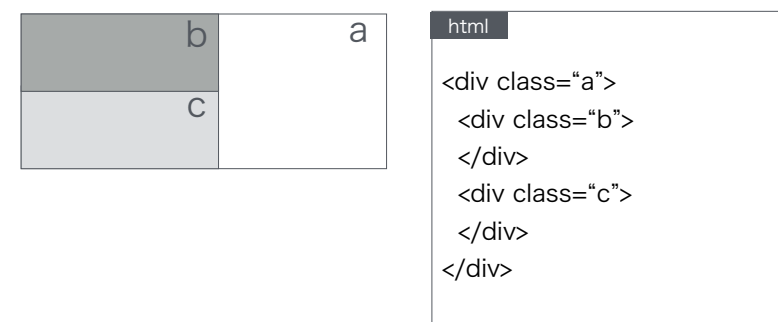
・ブロック要素のデフォルトの横幅は、親要素と同じ大きさになる

・ブロック要素のデフォルトの縦幅は、子要素の縦幅の合計になる

【例】要素bの横幅は、親要素であるaと同じになる



【例】要素aの縦幅は、子要素b, cの合計になる

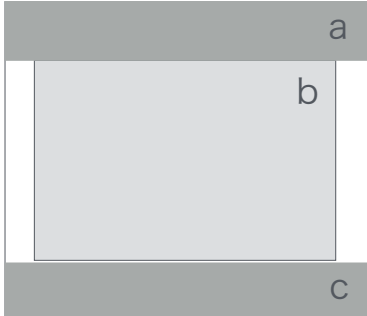


CSSのポイント

■ブロック要素の中央寄せの方法

- ・ブロック要素を中央寄せにするためには、横幅を決めてから margin:プロパティを「0 auto」という値で指定する

【例】 ブロック要素bを中央寄せにする



html

```
<div class="a">
</div>
<div class="b">
</div>
<div class="c">
</div>
```

CSS

```
.b{
width: 600px;
margin: 0 auto;
}
```

■テキストやインライン要素の中央寄せの方法

- ・テキスト(インライン要素)を中央寄せにするためには、テキストが入っている要素にtext-alignプロパティを「center」という値で指定する

【例】 ブロック要素bの中のテキストを中央寄せにする



html

```
<div class="a">
</div>
<div class="b">
  Hello, world!
</div>
<div class="c">
</div>
```

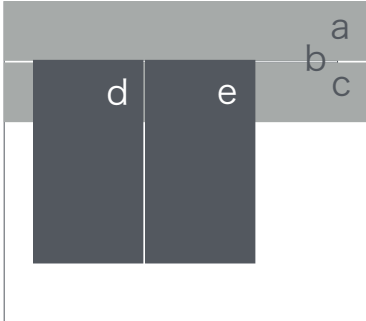
CSS

```
.b{
width: 600px;
margin: 0 auto;
text-align: center;
}
```

■要素を横並びにする方法

- ・要素を横並びにしたい場合は、横並びにしたい要素両方にfloatプロパティを指定する。
左に寄せたければ「left」を、右に寄せたければ「right」を指定する。これだけだと、見た目が崩れてしまう

【例】 要素dとeを横並びにしたが、要素bの高さが無くなってしまう



html

```
<div class="a">
</div>
<div class="b">
  <div class="d">
  </div>
  <div class="e">
  </div>
</div>
<div class="c">
</div>
```

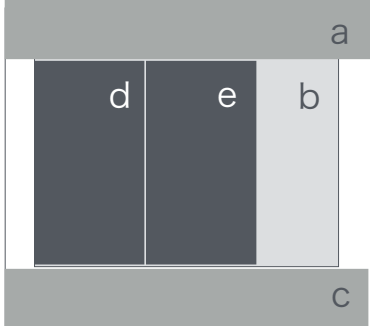
CSS

```
.d{
float: left;
}
.e{
float: left;
}
```

■要素の横並びによって見た目が崩れる問題の解決方法

- ・横並びにした要素の親要素にclearfixというクラスを指定することで解決する

【例】 clearfixクラスを適用することで、要素bの高さが復活する



html

```
<div class="a">
</div>
<div class="b clearfix">
  <div class="d">
  </div>
  <div class="e">
  </div>
</div>
<div class="c">
</div>
```

CSS

```
.clearfix:after{
content: "";
display: block;
clear: both;
}
.d{
float: left;
}
.e{
float: left;
}
```